

多国間共同訓練の実施について

多国間共同訓練の実施に関して、以下のとおりお知らせ致します。

- 本年7月に米空軍が実施する「モビリティ・ガーディアン23」において多国間共同訓練を実施する予定であり、横田飛行場やグアムから、米軍の輸送機が航空自衛隊八雲分屯基地及び小牧基地に展開する予定です。
- 八雲分屯基地においては日米共同訓練を、小牧基地においては、イギリス軍、カナダ軍、オーストラリア軍、ニュージーランド軍も交えた多国籍の共同訓練を実施する予定です。
- 本訓練は、自衛隊の戦術技量の向上のみならず、日米同盟の抑止力・対処力の強化、同志国との連携強化にも資する非常に有意義な取り組みです。
- 横田飛行場においては、7月3日の週から同月21日（金）頃までの間に、米軍輸送機C-130Jが4機程度、空中給油機KC-135が8機程度飛来する予定です。米軍輸送機は、自衛隊基地へ展開して航空医療搬送訓練などを実施し、空中給油機は、訓練に参加する航空機の支援を行う予定です。
- この期間中、物資輸送等のため別の米軍輸送機が飛来することがありますが、当日中に撤収する予定です。
- また、横田飛行場にイギリス軍輸送機が飛来する可能性があります。
- 日程や航空機数は現時点のものであり、変更される可能性があります。
- 米軍に対しては、訓練の実施に当たり、航空機騒音規制措置の遵守、土日及び深夜の飛行訓練を控えるよう申し入れており、地元への影響が最小限となるよう引き続き努めてまいります。